

式辞

桜の季節が移ろい、新緑の季節となり、すがすがしい春の風が吹き抜けていく、今日のよき日に、先ほど入学を許可した百四十一名の、希望に満ちた新入生の皆さんを、本校に迎えることができ、この上ない慶びです。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんは、これからの六年間を明星中学校・高等学校中高一貫コースの生徒として、この明星学苑府中キャンパスで過ごすこととなります。明星は一九二三年に誕生し、来年二〇二三年に創立百周年を迎えます。この素晴らしい環境の中で脈々と歴史を刻んできました。

明星の校訓は、「健康・真面目・努力」です。創立者児玉九十先生は、身体の健康と、心の健康である真面目さをもって、何事にも真剣に努力する人間を育てようと、この「健康・真面目・努力」という校訓を作られました。校訓が意図することをしつかり理解し、日々心懸けて下さい。

明星教育の特徴の一つは「心の教育」です。心と向き合うことで人間は成長するからです。もう一つの特徴は「体験教育」です。「体験教育」は教室で教科書を勉強するだけでなく、学んだことを世の中のため、人のために役立たせることが一番大切だという、児玉九十先生の教育感から生まれました。これらの「心の教育」「体験教育」の二つが、明星の素晴らしい伝統なのです。

加えて、百周年を迎えるに当たり、今年四月から二十一世紀社会にふさわしい新しい教育ビジョンと教育目標を制定いたしました。「世界のトレンドに適応し続けるイノベーターティブな学校」、「人と自然を愛し、自他の価値を大切にすること」、「生徒と教師がともに成長し誇りを持てる学校」という三つが教育ビジョンです。教育ビジョンというのはこんな学校でありたいという学校が目指す姿です。

そして、六年間で皆さんをどういう人間に育成するかというのが教育目標です。新しい教育目標は「自分の未来をデザインし共創していきける人の育成」となります。自分の未来をデザインするというのは、将来どんな生き方をするか、その為に何を学び、何を身につけていくのか、自分の未来を思い描き、それに向かって努力できる人間に成長することです。共創とは、共に創り出すという漢字ですが、考え方が違う多様な立場の人たちと対話しながら、一緒に新しい価値を生み出していくという意味で、二十一世紀という不確定で多様化の時代には一番大切な考え方です。

もう一つ大事なことをお伝えします。創立百周年を迎えるに当たり、これまで明星を育てていただいた府中市と多摩地区の地域発展にUDGs活動で貢献することを四月に宣言しました。次の百年に向けて明星の新たな価値を作って行きます。まず、府中市と地域活性化協働協定を締結して、先日のお祭りでは生徒達が活躍しました。

明星のネクスト100のステージの最初の年に入学してきた皆さんは、未来への希望と夢をもちながら、積極的にいろいろなことを学び、失敗を恐れずに何事にも挑戦し、一步一步成長して下さい。そのような皆さん方の学びに對して、私たち教職員は全力で手塩にかける教育を行います。次に、保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。本日より、大切なお子様をお預かりし、学校として出来うる限りの教育を行い、お子様の健全なる成長の支援をお約束します。どうか明星の教育を信頼し、ご理解・ご協力とご支援いただけますようお願い申し上げます。

最後に、本日入学した新入生の皆さんの、充実した学びと、実りある学校生活を祈念すると共に、六年後、百四十一名の生徒全員が、「自分の未来をデザインし共創していきける人」に成長していることを、保護者の皆様と教職員一同の大きな夢とし、入学式の式辞といたします。

令和四年四月八日

明星中学校・高等学校長 福本眞也